

日本発祥のお風呂文化をもっと楽しんで！

各種浴槽の製造販売取付から 独自開発の保温システムまで




アラキ
エンジニアリング

アラキエンジニアリング（大田区鶴の木、荒木祐之社長、03・5482・0051、<http://www.araki-eng.co.jp/>）は、ホテルやペンションなど宿泊施設の大浴場浴槽の製造から取り付け、アフターサービスまで一貫して自社で行っている会社である。

一般的な大風呂はもちろん、ジャグジー風呂、岩盤浴、足湯、炭酸風呂、檜風呂、陶器風呂、水中照明に至るまで、業界内でも廉価な商品・サービスを各種取揃え、荒木社長も「お風呂のことなら当社にすべてお任せください」と自信を見せる。

中でも、同社の一番の特長は、管理・維持・メンテナンスなどのアフターサービスにある。昨年10月に特許を取得したハイブリッド浴槽保温システムは、同社が独自に開発したものの。大浴場では、長時間入浴可能な温度を維持しなくてはならない

天然石浴槽と各種浴槽



水ろ過の専門メーカー
株式会社 アラキエンジニアリング

【特許出願中 2014-178715】
ハイブリッド浴槽保温
燃料費大幅削減出来ます！
今御使用中の風呂循環保温システム
ろ過装置に組み込みできます。



ボイラー又はガス熱源
プラス +
ヒートポンプ熱源



年間 10万円～20万円の
燃料費削減が実現
(ハイブリッド浴槽保温とは)
従来の熱源に加えヒートポンプの空気熱で
浴槽を保温するシステムです。
株式会社 アラキエンジニアリング

ので莫大な燃料費がかかってしまう。しかし、同社の保温システムは使用中のろ過装置に組み込むことが可能で、従来の1/2～1/3の燃料費で済み、ランニングコストを大幅に削減できる。

荒木社長は、利益以上に「日本発祥の文化であるお風呂の楽しさや素晴らしいさをもっと広め、身近に感じていただきたい」と熱く語り、一般家庭へのジャグジー風呂や露天風呂設置などにも積極的に取り組んでいる。